

平成29年度行政事業レビューシート (総務省)

事業名	オープンデータ・テストベッド整備等事業			担当部局庁	情報流通行政局	作成責任者			
事業開始年度	平成30年度	事業終了 (予定)年度	平成32年度	担当課室	情報流通振興課	犬童 周作			
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	総務省設置法第4条第1項第70号 官民データ活用推進基本法第11条第3項			関係する計画、 通知等	「未来投資戦略2017」(平成29年6月9日閣議決定)、「経済財政運営と改革の基本方針2017」(平成29年6月9日閣議決定)、「世界最先端IT国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画」(平成29年5月30日閣議決定)、「観光立国推進基本計画」(平成29年3月28日閣議決定)、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」(平成28年12月22日閣議決定)、「オープンデータ基本指針」(平成29年5月30日高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部決定)、「地方創生IT利活用促進プラン」(平成27年6月30日高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部決定)				
主要政策・施策	観光立国、IT戦略、地方創生			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度 以内)	オープンデータ・テストベッド整備等により、地方公共団体等におけるオープンデータの取組を支援し、官民協働を通じた新事業・新サービスの創出、住民サービスや行政の透明性・信頼の向上等を促進することを目的とする。								
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	地方公共団体等におけるオープンデータの取組を支援するため、地方公共団体等の職員がデータの加工・公開などの知識・技術を得得できる研修・試験環境や、データを保有する地方公共団体等とそれを活用する民間事業者等との調整・仲介機能等を有する「オープンデータ・テストベッド」を整備する。併せて、地方公共団体のデータ公開に向けたインセンティブを高めるため、公開されたオープンデータの有効活用につながるユースケースの策定・提示を行う。								
実施方法	委託・請負								
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の状 況	当初予算	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	0	0	0	500		
	執行額	0	0	0					
	執行率 (%)	-	-	-					
当初予算+補正予算に対する 執行額の割合 (%)	-	-	-						
平成29・30年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	29年度当初予算	30年度要求	主な増減理由					
	職員旅費	-	1	「新しい日本のための優先課題推進枠」500百万円					
	情報通信技術開発調査費	-	499						
	-	-	-						
	-	-	-						
	その他	0	0						
	計	0	500						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 年度	目標最終年度 32年度	
	平成32年度までに、地方公共団体のオープンデータ取組率を100%とする。	オープンデータに取り組む地方公共団体数/全地方公共団体数	成果実績	%	-	-	-	-	-
		目標値	%	-	-	-	-	100	
		達成度	%	-	-	-	-	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	「未来投資戦略2017」(平成29年6月9日閣議決定)第2 II.A.1(1)「KPIの主な進捗状況」欄中「<<KPI>>2020年度までに、地方公共団体のオープンデータ取組率を100%とする」、「IT国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画」(平成29年5月30日閣議決定)第2部 II-1-(2)①「分野横断的な施策のうち重点的に講ずべき施策」中「平成32年度までに地方公共団体のオープンデータ取組率100%を目標に推進。」等に基づき成果目標を設定。								
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							チェック		

活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標		単位	26年度	27年度	28年度	29年度 活動見込	30年度 活動見込	
		オープンデータ・テストベッドを活用した実地研修の実施回数								活動実績
単位当たりコスト		算出根拠		単位	26年度	27年度	28年度	29年度活動見込		
		執行額／オープンデータに取り組む地方公共団体数の1年間の増加数		単位当たりコスト	百万円	-	-	-	-	
				計算式	百万円/団体数	-	-	-	-	
政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	-								
	施策	-								
	測定指標	定量的指標		実績値	単位	26年度	27年度	28年度	中間目標 -年度	目標年度 -年度
					-	-	-	-	-	-
				目標値	-	-	-	-	-	
		定性的指標	目標	目標年度	施策の進捗状況(目標)					
				-	-	施策の進捗状況(実績)				
				-	-					
	改革項目	分野:	-							
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)		成果実績	単位	計画開始時 -年度	28年度	29年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度
		-	-		-	-	-			
		目標値	-		-	-	-	-		
		達成度	%	-	-	-	-	-		
(第二階層) KPI	KPI (第二階層)		成果実績	単位	計画開始時 -年度	28年度	29年度	中間目標 -年度	目標最終年度 -年度	
				-	-	-	-	-		
				目標値	-	-	-	-	-	
		達成度	%	-	-	-	-	-		
本事業の成果と改革項目・KPIとの関係										
-										

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業の成果による利益は広く国民に享受されるものであることから、国民のニーズに応えるものと認められる。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	人的リソースや財政面等の制約により、個々の地方自治体での自律的な取組だけでは困難な状況であるため、国が体系的に研修等を行うための基盤を整備するなどの支援を行う必要がある。 また、「世界最先端IT国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画」においても、責任を持って主体的に取り組むべき府省が事項ごとに明確化されており、国が責任を持って取り組む必要がある。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	「未来投資戦略2017」等の閣議決定において「平成32年度までに地方公共団体のオープンデータ取組率100%」という目標が掲げられており、その目標を達成するための具体的施策として、「地方公共団体等の職員がオープンデータに必要な技術を習得できる試験環境の整備、データを保有する地方公共団体とそれを活用する民間企業等との調整・仲介機能の創設」が明記されている。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	-	
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	-	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	-	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	-	
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	-	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	-	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	-	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	-	
	改善の方向性	-	
外部有識者の所見			
行政事業レビュー推進チームの所見			
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
備考			

